

広域振興局長

提出者 いなほ化工株式会社 岩手工場

住所 〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根高谷野原79-911

氏名 萩原 豪

（法人にあつては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	いなほ化工株式会社岩手工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根高谷野原79-911	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,467 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

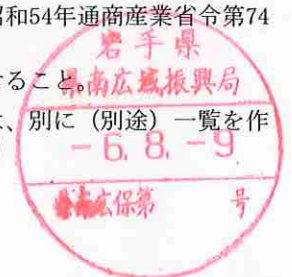
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kl
		kl
		kl

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

(A4)



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( 5 )年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)	0.68	kL	23		kL	23	2	0	1	
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	0.85	kL	31		kL	31	2	10	-8	
軽油	48.94	kL	1,860		kL	1,860	128	47	81	
A重油	1,001.80	kL	38,970		kL	38,970	2,758	1,366	1,392	
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	0.87	t	44	t	44	3	1	2	
	石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>					
石炭	原料炭		t		t					
	輸入原料炭		t		t					
	コークス用原料炭		t		t					
	吹込用原料炭		t		t					
	一般炭		t		t					
輸入一般炭		t		t						
輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t		t						
コールタール		t		t						
コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
高炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
転炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
その他の燃料	都市ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>					
	( )									
黒液		t		t						
木材		t		t						
木質廃材		t		t						
バイオエタノール		kL		kL						
バイオディーゼル		kL		kL						
バイオガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
その他バイオマス		t		t						
RDF		t		GJ/t						
RPF		t		GJ/t						
廃タイヤ		t		GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
廃油		kL		GJ/kL						
廃棄物ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
混合廃材		t		t						
水素		t		t						
アンモニア		t		t						
その他燃料( )										
小計①						40,927	2,892	1,424	1,468	
産業用蒸気		GJ		GJ						
産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
温水		GJ		GJ						
冷水		GJ		GJ						
地熱		GJ		GJ						
温泉熱		GJ		GJ						
太陽熱		GJ		GJ						
雪氷熱		GJ		GJ						
小計②										
電気事業者①	1,844.18	千kWh	15,934	千kWh		15,934	880	1,900	-1,020	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh						
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh						
自家発電	太陽光		千kWh	千kWh						
	水力		千kWh	千kWh						
	風力		千kWh	千kWh						
	その他		千kWh	千kWh						
小計③						15,934	880	1,900	-1,020	
合計 ④=①+②+③						56,860	3,772	3,324	447	

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	1,467	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	3,772 t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の二酸化炭素	t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
合計	3,772 t-CO <sub>2</sub>	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

## 別紙 その2

### 1 地球温暖化対策計画の達成状況

#### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年度から5年度にかけての目標「1872KL→1834KL」2%削減。

4年度は1900KL。

5年度は1497KL。

冬場の降雪量も少なく灯油・軽油の使用量は削減となった他、設備故障もあり生産減自体の重油使用量低下も貢献。  
生産自体に対しての燃料消費は増加傾向にあり注意していく。

#### 【具体的な取組状況】

##### ◎電気

製造部門において、省エネタイプの機器を設置することや夏場のクールビズ・エアコン設定温度の徹底に努め(エアコン設定温度の表記)それが功を奏した。

今後は工場内照明が水銀灯使用であることから、これをLED照明への変更をさらに上層部に進言していく。

##### ◎重油

弊社の製造においては、重油を燃焼させ、その熱量で原材料の水分コントロールしており、その時々で原料の水分量が変わってくるのが、いちばんのネックである。

低資源・低費用での水分調整が出来ないか検討をしていく。

##### ●省エネルギー推進

##### ○電気

- ・事務所エアコンの設定温度28℃でクールビズ実地 5月～10月。
- ・製造部照明投光器からLEDへ切り替え。
- ・設備の電力消費見直し、設備更新・インバーター使用で消費電流効率化。

##### ○軽油・灯油・ガス

- ・フォークリフト・重機の無駄なアイドリングを無くす。
- ・夜間等の不必要な照明・エアコン・暖房のOFF。

##### ○重油

原材料を乾燥・殺菌・加工する為の大量消費している為、使用料を減らすために、  
材料の水分・品質管理と水分調整が難しいが常に最適を模索する。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

### 2 その他の地球温暖化の対策の実施状況